

# 大安寺報

名句に学ぶ

## 星とたんぽぽ (抄)

金子みすゞ (詩人)

青いお空の底深く  
海の小石のそのように

夜がくるまで沈んでる  
昼のお星は眼に見えぬ

見えぬけれどもあるんだよ  
見えぬものでもあるんだよ

金子みすゞは、二十六歳の若さで亡くなった童謡詩人です。近年、そのみすゞらしく、かつ優しさあふれた才能が再評価され、東日本大震災後に放送された、公共広告機構のCM「こだまでしようか」は記憶に新しいところです。

みすゞのまなざしは、草花や魚といったか弱く、小さな存在にそそがれます。この「星とたんぽぽ」もその一つ。この、「見えぬけれどもあるんだよ」の一節を聞く、つい、私はお盆期間中の当寺の様子を思い浮かべるのです。

お盆期間中、本当に沢山の方々が当寺にお見えになり、位牌堂やお墓に心尽く

しの法界折詰等お供物を供え、小さなお子さんからお年寄りまで一心に手を合わせてお参りをされます。その対象はもちろん、亡くなった大切な方々、そしてご先祖さまでしょう。確かに、亡き方というのには、一見すると目には見えません。しかし、手を合わせて亡き方と向き合う時、知らず知らずのうちに、在りし日の面影が皆さんの心の中で蘇るのではないのでしょうか？亡き方と直接会ったことのない、小さなお子さんもまた、手を合わせるうちに、何か、自分を見守ってくれるあたたかな心と存在に包まれていることを感じるのでしょうか。

お盆は、亡き方、ご先祖さまが年に一度、こちらの世界に帰ってくるとされています。心を尽くして、「おかえりなさい」の



心でご先祖さまをお迎えし、おもてなしをする時、見えないはずの御精霊さまの存在を、心のうちに感じることもできるかもしれません。

合掌

### 当寺の最新情報はこちらをご覧ください

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



<http://www.facebook.com/daijanji>

※ご覧いただく場合は、facebook アカウントが必要です。



携帯サイト QR コード

### 仏事

### Q & A

第十三回

Q 「洗米」(あらね)の意味とは？

A お墓参りの際に、生のお米にお茶葉を混ぜ、水を含ませたものを「洗米」と言います。生のナスや大根をさいの目に切つて、洗米と混ぜ、蓮の葉に盛り、お盆特有の「水の子」という供物に由来すると考えられます。一説によると、さいの目に切つたナスや洗米は百八の煩惱を表すとされています。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)